

産業連携ネットワーク設立趣旨書

農山漁村には、農林水産物をはじめ、バイオマス、土地、水、自然環境、伝統文化など、様々な地域資源が存在している。これらの地域資源は、世界的にもCO₂削減やクリーンエネルギー志向が注目されるとともに、医療や福祉分野への応用、新素材開発での活用等が期待されることから、今後の経済成長へ向けた貴重な資源と考えられる。

しかし、これらの地域資源が有するポテンシャルは、まだ十分に引き出されていない状況である。これら貴重な地域資源を有効に活用するためには、農林漁業者や農山漁村で生活する者と他産業に従事する者との新たな連携関係を構築し、生産のみならず加工・流通・販売・観光等が一体化したアグリビジネスの展開や、先端技術を活用した新たな産業の育成、農山漁村における再生可能エネルギーの導入等によりイノベーションを起こしていくことが重要である。

そのためには、従来の手法や思考に囚われるのではなく、これまでにない地域資源の活用方法や技術・知識の組み合わせによる新商品の開発、生産などを模索し、柔軟な発想をもって積極的に新しい取組を行っていくことが必要である。

また、一次産業と二次、三次産業が手を携えて新しい価値を生み出し、農林漁業を含む産業全体の成長に取り組むことで日本の経済を活性化し、その成果を分かち合うことが重要である。

このような観点から、産業連携ネットワークは、多様な産業分野が有する様々な知見の共有と創発によりイノベーションをすすめる場として設立するものである。

平成23年12月